

1
 広報

とちぎ

2015
 特別号

発行/栃木市

〒328-8686 栃木県栃木市万町9-25

編集/総合政策部秘書広報課

☎0282-21-2316

<http://www.city.tochigi.lg.jp>



氾濫した巴波川

関東・東北豪雨において
 被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます



1日も早い

復旧に向けて

毎年9月初旬は国により防災週間と定められています。市ではこれまでも「大きな災害は忘れたころにやってくる」という教訓を合言葉に、広報とちぎで特集をするなど、防災についての様々な啓発事業を行ってまいりました。今回はそんな教訓を心底痛感せざるを得ない未曾有の大災害に見舞われ、市内各地に甚大な被害もたらされました。

台風18号の影響により9月9日から降り始めた雨は猛烈な勢いで降り続け、巴波川や永野川をはじめとする市内の各河川が、あっという間に水かさを増していきました。10日未明には、気象庁より県内全域に、重大な災害の危険性が著しく高まっていることを示す「大雨特別警報」が発令されました。この豪雨により、栃木地域や藤岡地域などでは、広範囲にわたる浸水の被害を受けたほか、各地で冠水、落橋、土砂崩れによる被害が発生するなど、市内の至るところに大きな爪痕を残しました。発生から約1か月を経た現在においても、全庁を挙げて災害の復旧支援を行っているところであります。

このような状況の中、今回は大雨災害の発生直後より、多くの皆さんが市を支えてくださいました。当日は大雨が降り続く中市消防団が出勤し、各地で避難所への避難誘導や、危険箇所への土嚢の設置などを行いました。水が引いた後からは、市内はもとより県内外より多くのボランティアの方が市を訪れ、連日、浸水した住居建物の片づけや、災害ゴミの収集などの作業にあたりました。また、1.5メートルもの浸水に遭った藤岡地域の部屋小学校では、保護者や地元の皆さんによる復旧作業が行われました。こうした多くの皆さんの力により、市は着実に復旧へと向かいつつあります。

市では、被災された皆さんの助けとなるよう、住宅等が浸水被害にあった皆さんへのお見舞金の支給をはじめ、農業や商工業などの各種産業の支援など、復旧に向けた様々な支援事業等を策定いたしましたので、ぜひご利用いただければと思います。現在行っております支援事業の詳細につきましては、この特別号の2・3頁をご覧ください。また、さらなる支援についても検討しておりますので、決定し次第、随時お知らせしてまいります。

今後とも市は、市民の皆さんと共に、一日でも早い復旧に努めてまいります。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

栃木市長 鈴木俊美